

補助事業番号 19-2-076

補助事業名 平成19年度 高齢者・障害者等の地域での自立生活のための相談補助事業

補助事業者名 社会福祉法人パール

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

相談事業の目的は、相談者の精神的安定を導き出し、人間としての尊厳を守ることです。現在の公的機関では解決できない多くの問題に対し、経験を積んだ相談員が医師、看護師、弁護士、理学療法士、心理学者などと連携し、相談者と一緒に解決していきました。相談内容は、精神的な問題、経済的問題、複雑化する人間関係の悩み、障害者の諸問題など生活全般に及びます。高齢者・障害者の地域での自立生活の実現に向け、対応が困難な事例でも、積極的に相談を受け、また、相談事例を参考に Q&A 方式にまとめ、幅広く多くの方々に情報提供も致しました。

そして、介護予防自立支援を目的として講習会を開催しました。学識経験者と理学療法士等の協力を得て「転倒・骨折予防筋力トレーニング」を実施し、筋力低下・バランス感覚の鈍化を防ぎ、転倒しにくい身体づくりを目指しました。また、「低栄養改善のための食事指導」では、生活の基盤である食事を楽しみながら摂ろうという事で、管理栄養士の指導のもと生活習慣病を予防していきました。高齢者・障害者や私たち皆が1人でも多く元気で幸せに、安心して地域で自立生活ができるように支援していくことを目的としてこの事業を行いました。

(2) 実施内容

7. 相談事業（月曜～土曜）専門相談・電話相談・面接相談

イ. 介護予防自立講習会（月1回）

東京都・山口県で開催

「転倒・骨折予防筋力トレーニングと低栄養改善食事指導口腔ケア」

報告書 『社活研 あなたの相談室 - 主な相談事例から - Q&A』

2. 予想される事業実施効果

相談事業での実施効果としては、やはり相談者の持つ多様な問題を相談員と一緒に解決していくという事です。相談を寄せてくる地域も拡大し、相談内容も多様化する中で、地域で安心して自立生活を送れる高齢者・障害者等の増加が相談事業を実施していくうえでの効果として上げられます。

また介護予防自立講習会での実施効果としては、講習会を受ける事で転倒防止・低栄養改善などが図られるだけではありません。もう一つの効果として参加者同士の交流が上げられます。外出することが減り、友人や地域との接点が希薄になった高齢者には、悩みがあってもなかなか話せる相手がいません。この講習会に参加することで同じ年代

ならではの身体的・精神的な悩みが共有できる、楽しみを共有できるなどの効果が期待できます。それにより、講習会の枠を超えた地域交流へと発展していきます。

3. 本事業により作成した印刷物等

- (1) 介護予防自立講習会 ポスター・チラシ
- (2) 報告書 『社活研 あなたの相談室 - 主な相談事例から - Q&A』

4. 事業内容についての問い合わせ

団 体 名：社会福祉法人パール（シャカイフクシホウジンパール）

住 所：150-0035

東京都渋谷区鉢山町3番27号

代 表 者：理事長 新谷 弘子（シタニ ヒロコ）

担当部署：あなたの相談室（アナタノソウダンシツ）

担当者名：ソーシャルワーカー 岩下 かおる（イワシタ カオル）

電話番号：03-5458-4811

F A X：03-5458-4817

E-mail：pearl@isis.ocn.ne.jp

U R L：<http://www.shibuya-pearl.or.jp>